



星が丘中学校だより

第7号

令和3年11月12日

発行責任者 田中芳浩



ピンチをチャンスに変えて 創り出そう よりよい明日

「星が丘中学校」ホームページもぜひご覧ください。上記QRコードをご活用ください。

晩秋の候

新型コロナウイルス感染症の新規感染者数がかなり減り、このまま終息して欲しいものです。しかし、今後の増加も危惧されますことから、学校では、基本的な感染症対策を徹底してまいります。

努力は足し算、協力は掛け算

10月14日（木）2学期始業式。各学年の生徒の皆さんに頑張ってもらいたいことを話しました。

1年生
学習・係活動・部活動
主体的に
努力・協力

2年生
3年生に代わって、
学校の顔・代表として
努力・協力

3年生
後輩の頑張りをサポート・協力し、
目指す進路に向かって努力

キーワードは、「努力・協力」。努力は、足し算のように積み重なっていくもの、決して裏切ることはありません。努力すればするだけ自分の力になります。協力は、一人一人の力を合わせれば掛け算のように何倍にもなります。しかし、0を掛ければ0です。誰かが手を抜いたり、やる気のないことを言ったりすると結果は0になってしまいます。係活動・部活動・生徒会活動など、皆で協力してやっていこう、という話をしました。

いじめゼロ集会 10月27日（水）



Google Meet を活用し教室で視聴しました。各学級で決めた標語の発表、生活委員による「いじめに立ち向かおう」の朗読、そして、最後に、生徒全員での「うつのみやいじめゼロ宣言」（右図）の唱和を行いました。

うつのみやいじめゼロ宣言

- 私たちは、いじめをしません。
だから、相手の気持ちを考えて行動します。
- 私たちは、いじめに負けません。
だから、勇気をもって、おとなの人や友だちに相談します。
- 私たちは、いじめを見逃しません。
だから、いじめられている人の味方になり、みんなでいじめをやめさせます。
- 私たちは、いじめのない、明るい未来を創ります。
だから、友だちとのつながりを大切に、お互いのよさを認め、助け合える仲間をつくります。



	1年	2年	3年
1組	傷つけるのは一瞬 心の傷は一生 傷つけるのは簡単 傷をなくすのは難しい	大丈夫。君ならきっと救えるよ 泣いているあの子に 心の『カギ』を	忘れてない？人の言葉やその気持ち いじめは絶対許されない
2組	奪わないで 人の笑顔を 将来を	「かわいそう」 思うだけでは変わらない	はっきりとつける！ いじめといじりの境界線
3組	「やめなよ」の その一言で 救われる	「大丈夫？」その一言で救われる あなたの笑顔を また見せてよ	みつけたせ！ 助けを求めるその声を
4組	思いやり 気持ち1つで 変わる未来	それダメ！ と 言える勇気が救いになる	気づいてる？ 見えない傷と見えない心
5組	何のため？人の心を傷つける？ 明るい未来はどう創る？	考えて それは本当に遊びなの？	分かってよ 助けを呼べない そのころ
6組	「いじめダメ」 言ってるだけじゃ 無くならない	いじめの規模はあなたが決める あなたは傍観？それとも勇敢？	「あいつムリ」 そういう奴こそ わたしムリ
7組	「いじめかな？」考えてから行動を 助け合おう みんなの仲間	いじめゼロ！ いじめは一瞬 後悔は一生	考えよう 相手の気持ちに 寄り添って
8組			忘れるな 悲しむ相手の親の顔

星フェス ～君から繋がる思ひで～

10月29日（金） 新型コロナウイルス感染症拡大防止のため中止となった学習発表会（合唱コンクール）の代替行事を生徒会が中心となり「星フェス ～君から繋がる思ひで～」という行事を企画し、実施いたしました。主な活動は、モザイクアートの制作とドミノ倒しです。



体育館1Fアリーナの南壁面に掲げられたモザイクアート（縦2.5m×横16m）



企画・運営にあたった生徒会役員の皆さん

モザイクアートでは、生徒一人一人が、10月中旬までに、 1cm^2 四方にカットした色紙をA4の用紙に貼るという活動をしました。それを生徒会役員の皆さんが張り合わせて、今年最大のイベントで、多くのメダルを獲得した日本人の大活躍があった「東京オリンピック2020」の巨大壁画を完成させました。生徒会以外の生徒たちは当日まで、どんな作品が出来上がるのかを知らされておらず、完成した壁画を見たときには大きな歓声が聞かれました。

また、ドミノ倒しでは、当日、50400個のドミノ牌を北校舎4Fの音楽室から、全ての廊下を通して、もちろん階段も含めて、南校舎1Fの体育館入口まで並べました。各クラス数グループに分かれた生徒たち一人一人が担当場所でドミノ牌を並べ、総距離は682mにも達しました。当日は、風もあり昇降口付近を担当したクラスは、並べたドミノが風に何度も倒されることもありましたが、あきらめずにぎりぎりまで並べる姿が見られました。思い思いに工夫をしながら2時間30分、全校生のドミノがつながりました。各学級に戻った生徒たちは、Youtubeで生配信されている様子を、11時に音楽室の1つめのドミノが倒された瞬間から、テレビで視聴しました。止まってしまうことも何度かありましたが、皆で並べたドミノは、682mを見事に走破しました。

「星フェス ～君から繋がる思ひで～」まさしく、一人一人の 1cm^2 四方の折り紙が、一人一人が並べたドミノが繋がり、生徒の皆さんの心には大きな思い出として残ることでしょう。この「星フェス」を通して、生徒の皆さん一人一人が、協力して大きなイベントを成し遂げた達成感を味わうことができたのではないかと思います。新型コロナウイルス感染症という大きなピンチ、これをチャンスに変えて、本当に素晴らしいイベントを成功させた全ての生徒の皆さんを誇りに思います。本当に、よく頑張りました。

